

2024年 - 11月 - (園だより)

2024年度主題 さあ、漕ぎ出そう 奏でよう

11月主題 感謝しつつ

11月のねらい

- ・秋のみもりや身の回りの生活に神さまの守りがあることを知り、
ありがとうの気持ちが芽生える。
- ・秋から冬の移り変わりを感じる。

聖句 「成長させてくださったのは神です。」 コリント1 3:6

さんびか 「きょうはうれしいかんしゃさい」

歌 「もみじ」「きくのはな」「まつぼっくり」

おすすめの絵本 「しゅつどう!しょうぼうたい」



感謝

秋も深まり紅葉の季節になりました。また、先日の大雨には驚きました。道路の冠水があり帰宅が困難。初めて線状降水帯の怖さを知ることが出来ました。

そして、数人の子どもたちが非常食の試食をしたところです。大きな被害がなく神さまの見守りに感謝です。今、園では、溶連菌が数名出ており高熱でお休みの子どもたちがいますので、お気を付けください。

11月は収穫感謝礼拝があります。秋の実りに感謝、お米や果物、野菜を作ってくださっている生産者の方々に感謝する日です。私たちの身体も食物をとることで健康を与えられています。神さまに感謝。

今年度もお世話になっている地域の方々に「りんご」を届けます。ご用意の出来る方は、りんご1個 持たせてください。(鉢肥公民館・図書館・交番) ご協力お願い致します。

子育てに必要なこと(教育者 石田勝紀先生より)「教育の目的は自立と協調を併せ持つ人間を育てること」人が生きていく間にはいくつもの判断をしますが、それを他人に依存してしまうと、責任を転嫁したり、納得できない思いが募って不平不満が多くなったりします。そうならずに自分で立つためには自らを知る必要があり、それには長所が役割を果たします。ですから短所を指摘するのではなく、長所を伸ばすことが教育の目的です。子どもの主張に共感することも大切だそうです。自分軸を育てましょう。